考古学地理情報分析計画シート（20250623第1版）

タイトル　旧武蔵国西・南部の長期遺跡分布動態

対象地域・範囲　東京都、埼玉県西部、神奈川県川崎市

時代・時期　旧石器、縄文、弥生、古墳、奈良、平安、中世

研究上の問い　一定の地域で、考古遺跡の分布＝人類社会の土地利用動向はどのように変化するのか?

入力データセット

・主な分析対象　遺跡地図・台帳データ

・データソース　東京都遺跡地図情報インター提供サービス

　　　　　　　　埼玉県埋蔵文化財情報公開ページ

　　　　　　　　ガイドマップかわさき

・データ整形　位置情報を手動で取得

　　　　　　　時代区分を共通化

　　　　　　　不要情報の整理

　　　　　　　結合

地理情報解析対象

・ラスタデータ　地理院10mDEM→標高データ取得のため

・ベクタデータ　国土数値情報土地分類→立地（地形分類）データ取得のため

　　　　　　　　国土数値情報流域界→流域（水系域）データ取得のため

解析手法

・地理空間情報の取得（標高、地形分類）：入力データセットと解析対象データを重ね合わせ、ポイントで取得する

　・ラスタ：プロセシング→ラスタ解析→ベクタレイヤにラスタ値を付加→

　・ベクタ：ベクタ→属性の空間結合→ポイントデータのレイヤ＋重なる（overlap）

・集計：属性テーブルをcsvで書き出し、流域別時代別に集計と統計解析

図化

・背景地図　地理院タイル（陰影起伏図）

　　　　　　国土数値情報水域（関東・山梨1都７県結合）

・重ね合わせ地理情報　土地分類、流域界

・図化

　・分布図　入力データのポイント表示、バッファ表示

　・密度分布図　ヒートマップ、流域コロプレス図